

# 改革!!

## 維新「政策活動費廃止へ！」藤田幹事長会見で表明

「身を切る改革」は維新の会の原点です。国会議員への旧文通費や、一部政党幹部への政策活動費は、使途が不透明なブラックボックスになっています。自民党の政治資金パーティーに伴う裏金問題もあり、政治への信頼が失われています。

我々日本維新の会は他党が行っていない旧文通費の領収書を公開しており、新たに政策活動費の党内廃止を藤田文武幹事長が表明しました。岸田文雄首相と馬場伸幸代表が合意した旧文通費の改革は、今国会では実現しませんでした。自民党の歩み寄りには大きな方向転換です。

政策活動費も、選挙費用に流用されてきたとの指摘がありますが、領収書公開でその使途が制限されます。日本維新の会は「有言実行」を信条とし、理想論を宣伝したり、裏で資金パーティーを開催する政党とは異なります。これからは「身を切る改革」を進める日本維新の会と池下卓へのご支援をお願いします。



### 維新の政治改革に関する「10の要求事項」令和6年5月21日

- 01 調査研究広報滞在費(旧文通費)について、使途公開と残金返納を義務付ける立法措置を講ずること。
- 02 ブラックボックス化している「政策活動費」については、年間の使用制限、使途項目ごとの報告、領収書等とともに第三者性のある外部機関による監査の義務付け等。
- 03 政治家および政治団体への、企業団体による献金、パーティー券の購入を禁止。



# 地元!!

## 地元、高槻市と島本町で残す確かな実績!!

### 一級河川芥川の JR 橋梁と高架化プロジェクト ~地域の安全と活性化を目指して~

一級河川芥川にかかるJR橋梁は老朽化し、台風や集中豪雨による洪水被害が懸念されています。私は議会活動を通じ、周辺堤防の強化を進め、さらに令和3年の「大阪府都市整備中期計画」に河道改修を盛り込むことができました。これからは洪水被害から地域の安全を守る活動を続けます。

また、JR京都線の高槻・茨木間には「開かずの踏切」が複数あり、全国的にも事故率が高い地域です。国土交通省や大阪府に路線の高架化を働きかけ、事故率低減と地域活性化を目指していきます。



### 高槻警察署の建て替えがスタート 住民の安全と安心を守る新たな一歩

私が府議時代から取り組んできた高槻警察署の建て替えプロジェクトが、ついにスタートしました。当初は実現が難しいと言われていましたが、粘り強く取り組んだ結果、遂に実現しました。

現庁舎は老朽化が進み、駐車場も狭く、住民の皆様にとって使い勝手が悪い状況でした。しかし、今回の建て替えにより、住民の皆様がより利用しやすい施設へと生まれ変わります。新庁舎の完成は令和8年度を見込んでいます。

特に、高槻市と島本町は「特殊詐欺」の多発地域です。これからは、住民の安全と安心を守るために全力を尽くしてまいります。



日本維新の会 共同代表 吉村洋文

衆議院議員 国政報告第6号

# 池下卓

日本維新の会

### 日本維新の会 高槻市及び三島郡支部 議員団のご紹介

- |                         |                        |                        |                       |                      |
|-------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|
| <br>大阪府議会議員<br>市来 ハヤト   | <br>高槻市議会議員<br>竹中 健    | <br>高槻市議会議員<br>吉田としひろ  | <br>高槻市議会議員<br>きもと ゆう | <br>高槻市議会議員<br>田村のり子 |
| <br>高槻市議会議員<br>江沢 よし    | <br>高槻市議会議員<br>鈴木りゅういち | <br>高槻市議会議員<br>木山 ユウ子  | <br>高槻市議会議員<br>山崎 まりこ |                      |
| <br>島本町議会議員<br>大久保 たかゆき | <br>島本町議会議員<br>山口ひろよし  | <br>島本町議会議員<br>ナカジマ 洵智 |                       |                      |

本年1月にスタートした第213回通常国会が閉会しました。今国会は昨年から引き続き自民党派閥による裏金パーティー問題等の政治資金が国民の不安と不信を招き、大きな課題となりました。

国民生活を豊かにするための「政治」。しかし、そこに国民の信用がなければ実現することはできません。我々、日本維新の会は「身を切る改革」を10数年に渡り実行してきました。その根幹は国民の皆様が信用されるには政治家が懐を肥やすのではなく、身を律しそして役所の改革から地元や国の成長を狙っていくべきものです。一部の政党は提案はするものの、法律が決まるまでは実践しないところもあります。

我々日本維新の会は言ったことは実行する、まさに有言実行の政治を行っていきます。まだまだ国政では小さい政党であり、100%のご期待に応えられない部分も多分にありますが、引き続き「大阪から日本を変える」想いで力を尽くしていきます。



第213回国会  
振り返り

# 池下議員に 聞いてみた

令和6年  
第213国会を振り返って

01

— 今年の通常国会が閉会しました。振り返ってみていかがですか？

**池下** 年明け元日に能登半島を襲った地震の影響で、1月26日に召集された今年の通常国会は一刻も早い対策が求められる緊急体制の中で始まりました。また国民生活の視点で言えば、電気代の高騰や歴史的な田舎の影響で物価高が止まらず、日に日に苦しくなっていく家計や企業経営を政治がいかに支えるかが大きな課題でした。一方で政治への信頼も揺らいでいました。昨年に発覚した自民党派閥のパーティー代金の裏金問題が引き金です。政治家が

政策を推し進めるためには、国民からの信頼を一日も早く回復することが命題であり、政治資金の透明化に向けた対応策に与党・野党ともに全力を尽くす必要があります。また、ウクライナやパレスチナなどの不安定な国際情勢が日本の経済に与える影響も深刻でしたね。

— 海外情勢とえば、池下さんが所属される法務委員会が外国人に関する日本の移民制度に動きがあったのでしょうか？

**池下** いえ、日本が移民制度に舵を切ったというわけではありません。これまでの外国人技能実習制度は、本来日本の技術を学んでもらうために創設されましたが、実態は安価な労働力の確保が目的となっていました。今回の改正では、「技能実習制度」を廃止し、長期的就労を可能にする「育成就労制度」を新たに創設しました。これは、長期的に国内産業を支える人材の育成と確保を目指すものです。

## 外国人と不足する労働力問題

02

— 維新としてはどのような考えだったのですか？

**池下** 現在も党内で外国人との共生をテーマに議論が続いていますが、外国人材の確保は喫緊の課題であることは

間違いありません。3年間で一定の技能を身につけてもらい、「特定技能」への移行を促す改正は現実的な対応だと考えますが、地方から都市部への人材集中を防ぐための対策も必要で、地方で働くことの魅力を高める取り組みが求められます。また、文化や習慣が異なる外国人労働者とその家族が増えることで、地域社会も変化を迫られるでしょうし、地域の住民との相互理解とコミュニケーションが大切です。労働力不足は日本だけの問題ではなく、国際的な人材獲得競争が激化する中で、日本の魅力を発信し、外国人労働者に選ばれる国にすることが重要です。

— ところで、今国会で所属された法務委員会ではどのようなことを議論されましたか？

**池下** 法務委員会では、裁判全般、戸籍の問題、外国人の滞在に関するルール、家や建物の登記制度などが議論されました。他にも人権問題や治安に関することも担当しています。

— 法務委員会の理事を務められたようですが、理事とはどのような役割を担っているのですか？

**池下** 法務委員会に限らず、委員会の理事は各党派と調整しながら委員会の運営を行う役割を担っています。まさに縁の下力持ちといった感じで、裏方



の役割ですね。

## 子どもの利益から見た親権制度

03

— 今国会での法務委員会ではほかにどのような審議が行われましたか？

**池下** もう一つ大きな議論があり、それは家族に関するものでした。離婚後も子どもの親権を父母が共同で行使できる「共同親権」についての法案です。これは、離婚しても子どもにとって親は親であり、両親から愛情を受けて育つことが子どもの最善の利益であるという立場から提出されました。

— 共同親権について、これまで政府の動きはどのようなものでしたか？

**池下** この問題は法務省の家族法制部会の民間有識者によって活発に議論されました。審議会は最終的に37回も

会議を重ねて政府に答申を提出しましたが、附帯決議がつくなど賛否両論が噴出する大きなテーマでした。

— 党内の議論でも賛否があったと聞きますが？

**池下** 私は維新の会の法務部長に昨年10月に就任してすぐに、この問題に対する党内の意見をまとめる必要性を強く感じましたので、共同親権に関する有識者や当事者を招いて勉強会を重ねました。特に地方議員や支部長など特別党員も参加した部会を10回近く開催し活発な議論が交わしてもらいました。その成果として維新独自法案の要綱を作成しましたが、最終的には大変重大な案件であるため、党の役員預かりとなりました。この間の議論を通じて痛感したのは、共同親権への道にはDV問題と子どもへの虐待が大きな障壁となっていることです。私もDVは重大な犯罪であり、厳罰

化や早期救済を進めるべきと考えています。特にDV被害者からは、この法律が通ると命の危険までも感じる悲痛な声を聞きました。一方で、離婚や親権を得るために虚偽のDV申告が行われるケースも多く、夫婦間の問題が犯罪の温床になり得るという点も深刻に捉える必要があることを強く感じました。あと特筆すべきは今回の法案について、賛成派も反対派も家庭裁判所に対する不信任を共有していました。その解決策として法務委員会では家庭裁判所の機能強化の必要性も訴えましたが、政府は問題ないとの認識であり、今後は裁判所のマンパワーについてさらに議論を深める必要があると考えています。

— 法務委員会では現場視察にも行かれたと伺っていますが。

**池下** はい。福岡県の家庭裁判所に伺い、親権に関する審判や調停の現状と

課題についてお話を伺いました。福岡出張では福岡空港にある福岡入国管理局の空港出張所にも視察に伺い、海外からの渡航者に対する入管体制についても話を聞いてきました。また、技能実習については群馬県と宮城県にもそれぞれ委員が出張し、現地の民間の有識者や当事者の意見を伺う機会を設けました。共同親権や外国人労働者の問題についても多くの関係者との意見交換を重視する委員会運営のおかげで貴重な経験することができました。

— 150日間にわたる国会で池下さんご自身も多くの収穫があったことでしょうか、最後に地元大阪の未来について池下さんの国会議員としての「お考えをお聞かせください」。

**池下** ありがとうございます。やはり大阪と言えば、まずは万博の成功が大きな鍵となるのではないのでしょうか。いよいよ関西万博の開催まで300日を切りました。報道では工事の遅れが指摘されていますが、海外パビリオンが順次マスコミに公開されるなど、関係者一丸となって着実に開催に向けて前進しています。なんとしてもこの万博を成功させ、多くの方々に大阪へ足を運んでいただき、関西の魅力や国内外に発信し、関西経済の力強い一歩になればと期待しています。

## いけたく 活動写真



暑い日も寒い日も。街頭活動は議員の責務



府議時代から続けている高槻市・島本町の要望聴き取り



定例の座談会も20回を超えました



地域のイベントでお困りごとのご相談を受けることも



万博工事現場を視察  
いよいよ来年4月13日開幕